

## 外国語活動 学習指導案

単元名「時間割をつくろう What do you have on Monday?」〔学指要領：(3)、ウ〕

令和 6 年〇月〇日 (〇) 第 5 校時 食堂  
伊勢崎市立赤堀東小学校 4年〇組 指導者 〇〇 〇〇  
イングリッシュサポーター 〇〇 〇〇

### I 単元の構想

#### 1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・教科名や I have ~ on ~. などの時間割を伝える簡単な表現に慣れ親しむようにする。	
思考力、判断力、表現力等	・友達や先生と時間割を決めるために、自分が考えた時間割を見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や表現を用いて、相手に配慮しながら話すようにする。	
学びに向かう力、人間性等	・友達や先生と時間割を決めるために、自分が考えた時間割を見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や表現を用いて話そうとする。	

#### 2 評価規準

知識・技能	・自分が考えた「4年2組 Week」の時間割について、教科名や I have on ~. などの表現を用いて話すことに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	・友達や先生と時間割を決めるために、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や表現を用いて話している。
主体的に学習に取り組む態度	・友達に自分の考えや気持ちなどが伝わるように、簡単な語句や表現を用いて話そうとしている。

#### 3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全5時間：本時第4時)

※評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・担任と ES のやり取りを聞いて単元の課題を把握し、教科名と時間割を伝える表現に慣れ親しむ。(あ) (い) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     単元の課題 3学期の「4年〇組 Week」の時間割を皆で決定するため、自分の考えを                      発表しよう。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">                         ねらいに即して指導に生かす評価を行う                     </div>		
2	・教科名と I have ~on ~. の表現を用いて、「時間割曜日当てクイズ」をする。			
3	・「4年〇組 Week」の時間割を考え、理由を友達に伝える。(あ)			
4	・グループで「4年〇組 Week」の時間割を作るため、各自の時間割を紹介し合う。(あ)			● ●
5	・グループで「4年〇組 Week」の時間割を友達、教師、ES に紹介する。(あ) (い)		●	

\* 活用する学習支援ソフト等：(あ) ミライシードオクリンクプラス (い) 生成 AI

#### 4 言語活動の価値

<p>本単元では「4年〇組 Week」を皆で楽しむ一日にするため、友達や担任の先生に自分が考えた時間割を発表するという言語活動において、「担任の先生が時間割について皆の意見を聞き、実際に行いたい」という状況設定をしている。これは、身近な時間割について自分事として考えることで、児童が実物を見せながら自分の考えや気持ち、理由などを簡単な語句や基本的な表現を用いて話す力につながる。また、時間割を提案する場面設定により、Good. や Nice. と反応するとともに、I like ~. や I can ~. などの既習表現に加え、What do you have on ~? や I have ~ on ~. などの新出言語材料を何度も聞いたたり用いたりすることができ、それらの表現に慣れ親しむことができる。</p>
---

II 本時の学習 (4/5)

1 ねらい グループで「4年〇組 Week」の時間割を作るために各自の時間割を紹介し合う活動を通して、自分の気持ちや理由などを簡単な語句や表現を用いて話すようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

<p>主な学習活動 予想される児童の意識 [S]</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)</p>
<p>1 あいさつ・Warm Up 歌・チャンツ (5分) 2 教師、ES と児童による活動のデモンストレーションを見て活動の仕方を理解し、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>&lt;めあて&gt; 「4年〇組 Week」の時間割をグループで考え、理由とともに紹介をしよう。</p> <p>S : 自分が考えた時間割が選ばれたら嬉しいな。 S : 教科を選んだ理由が伝わるといいな。友達は何の教科をどのような理由で選んだのかな。</p> <p>3 教科や時間割を伝える表現に慣れ親しむ。(5分) S : 「体育が好きだから、水曜日に体育があるよ。」と友達に伝わるといいな。</p>	<p>○教科を選んだ理由を伝えることの必要性に気付くことができるように、前時の振り返りを紹介し、グループで一つの時間割を作ることや皆が楽しめる時間割を作ることなどのよさを問いかける。</p> <p>○活動の仕方やルールを理解できるように、教師とES、数名の児童で活動モデルを示す。</p> <p>○継続したやり取りのイメージを持つことができるように、Very nice.、I like it. などの反応や、Do you like ~? などの簡単な質問を行うモデルを示す。</p> <p>○既習の表現を想起し、自信を持って発話できるように、4年〇組の実際の時間割表を用いて、What do you have on ~? I have ~on ~. の表現を用いた問答を繰り返す。</p>
<p>4 自分の時間割を紹介し合い、グループで1日分(6時間)の時間割を作成する。(25分)【★保存】 S : 体育を選んだ理由を I like を使って言えたよ。 S : ○〇さんが I can を使ってできることを言っていたから、私も次に言ってみよう。 S : 「バスケットは楽しい」ってどのように言うのかな。 S : 他のグループが、○〇 is fun. と言っていたな。</p> <p>S: I have P.E. on Wednesday. I like P.E. I can play basketball. Basketball is fun.</p> <p>S : 皆で楽しい1日を過ごせる時間割が作れたよ。グループの皆が教科を選んだ理由が分かってもらえるかな。</p> <p>S: Hello. This is our dream schedule. I have music on Wednesday. I like singing. I have science on Wednesday. I like science. Jikken is exciting. I have P.E. on Wednesday. I like P.E. I can play dodgeball.</p>	<p>○時間割が決まったグループが紹介練習に取り組めるように、紹介練習の仕方や発表で意識したいこと等を黒板に掲示しておく。</p> <p>○適切な英語表現を想起できるように、既習表現が録音された端末上の音声メモを用意し、適宜参考にするよう促す。</p> <p>○表現の幅を広げることができるように、新出表現に既習表現を含めて用いている発話を紹介する。</p> <p>○外国語特有の発音やリズムに気付けるように、発話状況に応じて、I have ~ on Wednesday. の言い方を確認し、口頭練習の機会を設ける。</p> <p>○次時に、発表内容を思い出すことができるように、本時の活動で伝えた英文を音声メモとして残すよう助言する。</p> <p>◆評価項目 (思・態) 評定に用いる評価 グループ内で自分が考えた時間割を紹介し合う場面で、「自分の時間割のよさが相手に伝わるように、教科やそれを選んだ理由、自分の気持ちなどを話しているか (話そうとしているか)」を評価する。</p>
<p>5 言語面・内容面から学習の振り返りをする。(5分)【★保存・提出】</p> <p>&lt;振り返り&gt; S : 自分が考えた時間割を伝えることができました。選んだ理由を I like P.E. とドッジボールができる、ドッジボールは楽しいと伝えました。友達も体育を選んでいただけ、理由が私とは違ったので、なるほどと思いました。今回は、グループで作った時間割のよさを先生やクラスの皆に分かってもらえるように発表したいです。自分たちの時間割を選んでもらえて、4年〇組ウィークを楽しめるといいです。</p>	<p>○次時の発表活動の見通しを持つことができるように、児童の振り返りを紹介したり、友達のよかったところを問いかけたりする。</p>